

上田市では、資源循環型施設の建設計画に伴う周辺整備に関して、「**ここから未来を育む（はぐくむ）**」という整備方針に基づき、余熱利用施設と公園緑地の具体的な整備のあり方を検討しています。

検討にあたっては、令和5年10月から計3回のシリーズで開催しているワークショップで出された意見をふまえて、本年度内に住民の皆さんの意向を把握するためのアンケートの実施を予定しています。

◎ 第2回まちづくりワークショップを開催しました！

令和5年11月10日（金）、清浄園にて第2回のまちづくりワークショップを開催しました。

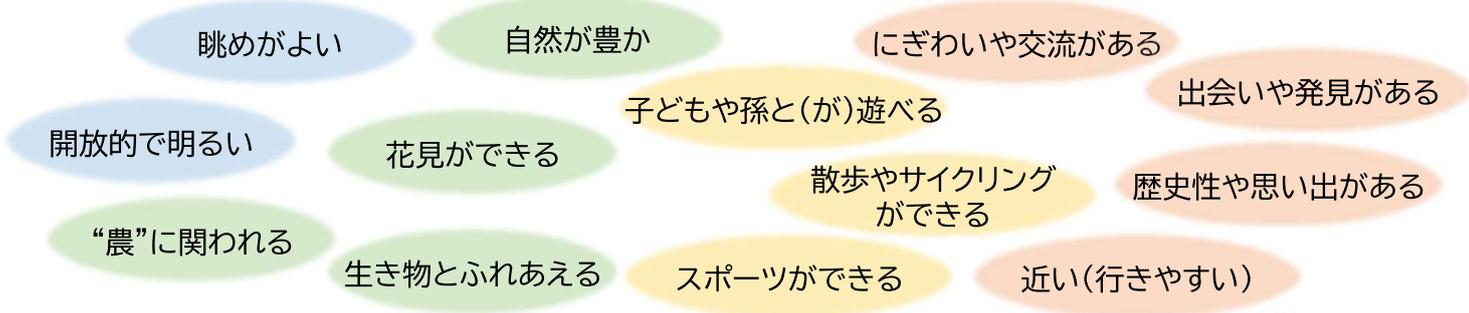
今回は「**地域みんなで使い・育てる施設や公園の機能・取組の具体化**」をテーマに、前回同様3グループに分かれ、現地の環境や周辺地域の資源等を地図上で再確認しながら、以下2つのワークを通じて、前回のワークショップの意見をさらに掘り下げる討議を行いました。



ワーク1 現地や周辺地域の活かせる資源や環境・活かし方
ワーク1では、「みんなが訪れたいくなる居心地のよい場所」にするために、現地や周辺地域の活かせる資源や環境、それらの資源・環境の活かし方について意見を出し合いました。

ワーク2 現状・課題や整備・取組のアイデアの掘り下げ
ワーク2では、さまざまな利用者の視点に立ち、季節も意識しながら、新たに整備する公園緑地や余熱利用施設の利用や滞在のシーンをイメージして、前回のワークショップの意見をもとに整理した整備や取組の内容を具体化しました。

● 前回意見から見出した「みんなが訪れたいくなる居心地のよい場所」に求められる13の要素



● アイスブレイク ～『お立場カード』を利用した課題やアイデアの掘り下げ～

ワーク2の前のアイスブレイクとして、年代や家族構成を変えた4種類（高校生、未満児の子をもつ親、小学生の子をもつ親、シニア世代）の『お立場カード』をグループ内で回して、それぞれ受け取ったカードの立場の人になりきって考えることで、さまざまな利用者の視点を意識化しました。

また、季節も意識することで、必要な整備や取組の内容をより深めて考えることができました。



各ワークで出された意見は裏面参照

● ワーク1・ワーク2のグループ討議を通じて出された意見の要約・整理

各グループのワーク1、ワーク2で出された主な意見をまとめて、以下に要約・整理しました。

現地や周辺地域で活かせる資源(要素・環境)

- ・太郎山（逆さ霧）や虚空蔵山、美ヶ原などの眺望
- ・間近にある千曲川や視界の開けた堤防道路
- ・川遊びしやすい矢出沢川（水生生物の棲み処）
- ・周辺に広がる農地（四季折々の田園風景）
- ・北陸新幹線やしなの鉄道の電車が見える
- ・近場の商業施設やバス営業所
- ・診療所、薬局など生活利便施設の近年の増加 など



資源の活かし方・整備や取組のアイデア

- ・眺めのよい築山やシンボリックな大型遊具
- ・幅広い年齢層の子どもたちが遊べる遊具
- ・虫捕りや魚捕りのインストラクターの配置
- ・芝生広場、大きな樹木、噴水
- ・堤防道路や北国街道と動線のつながる周回園路、ベビーカーが安全に通れる遊歩道
- ・スケートボード、ボルダリング、パークール、3×3などのアーバンスポーツ施設
- ・イベント広場、BBQ広場、きれいなトイレ
- ・四阿、（屋根付きの）ベンチやテーブル
- ・植栽や花壇、農体験の場、アート など



左記の整備・取組で思い描く利用・滞在のシーン

- ・高台では千曲川の流れや周囲の山並み、農地など各季節で景色を味わえ、子どもたちは電車を見てはしゃぎ、冬はそりを楽しめる
- ・芝生広場では子どもたちが自由に走り回って遊び、夏場は噴水で水遊びを楽しむ
- ・休日の園路には散策、健康ウォーキング、ランニングなどさまざまな人々が行き交う
- ・休日にはテーブルにピクニックする家族が集い、若者らがアーバンスポーツを楽しむ
- ・時折マルシェが開かれ、秋は収穫祭、冬はイルミネーションなどでにぎわう など

公園緑地

余熱利用施設

- ・眺めのよい開放的なレストラン、休憩室（和室）
- ・年齢を問わず楽しめるプール（レジャープール、流水プール、歩くプール等）
- ・温浴施設、多機能風呂（大浴場、サウナ、岩盤浴、足湯）、トレーニングジム
- ・雨の日でも冬場でも遊べる場所（ボルダリングなどのインドアスポーツ施設、アスレチック施設、運動場、eスポーツ施設）
- ・図書室、学習室、一時保育施設、Wi-Fi設備
- ・カフェ、コンビニ、直売所 など



- ・プールや温浴施設を楽しんだ後、外の景色を眺めながらレストランや休憩室で一休み
- ・さまざまなプールで小さい子も中学生以上の子も楽しめる、水泳教室もある
- ・プールやトレーニングジム、スポーツ施設などで健康づくりができる
- ・雨の日や冬場、子どもを連れて来られ一日中遊べ、大人もカフェなどでくつろげる
- ・日常的に中高生が来て勉強をしたり、ラウンジで友達とおしゃべりを楽しめる など



その他全体的視点：SDGsへの配慮、地域内の資源・エネルギー循環、バリアフリー、車以外のアクセス手段

このニュースは、資源循環型施設の建設候補地周辺自治会の皆様に回覧するとともに、上田地域広域連合及び上田市のホームページでご覧いただけます。御意見・御質問は下記へお寄せください。

〈お問い合わせ先〉 上田市 環境部 資源循環型施設建設関連事業課
TEL:0268-71-8082 FAX:0268-71-7910 E-mail:junkan@city.ueda.nagano.jp